

令和 7 年度事業報告書

社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業	2	9. ファミリー・サポート・センター事業	34
		(1) ファミリー・サポート・センター事業	34
2. 地域福祉事業	7	(2) 子育てホームヘルプ事業	37
(1) 地域福祉活動推進事業	7	(3) 子育て世帯訪問支援事業	37
(2) 相談事業	9		
(3) 福祉バス管理運営事業	9	10. 訪問介護事業	38
(4) 認知症サポーター養成講座事業	10	(1) 訪問介護事業	38
(5) 生活支援体制整備事業	10	(2) 生活支援訪問事業	38
(6) 三豊市こどもの居場所づくり事業	12	(3) その他訪問事業	39
3. 共同募金配分事業	14	11. 障害福祉サービス事業	40
(1) ボランティア活動推進事業	14	(1) 障害福祉サービス事業(居宅介護)	40
(2) 福祉普及啓発事業	16	(2) 障害福祉サービス事業(行動援護)	40
(3) 居場所づくり推進事業	18		
(4) 広報啓発事業	19	12. 移動支援事業	41
(5) 社会福祉大会開催事業	20		
(6) 災害対策推進事業	21	13. 高齢者デイサービスセンター事業	41
(7) まるみプラン推進事業	22		
(8) 地域活動応援事業	25	14. 生活支援通所事業	42
4. 生活福祉資金貸付事業	26	15. その他事業	42
		(1) 老人クラブ連合会	42
5. 福祉サービス利用援助事業	27	(2) 共同募金事業	44
		(3) 子育てボランティアみみちゃん	46
6. 法人成年後見等事業	28	(4) フードバンク(ものバンク)事業	47
(1) 法人成年後見等事業	28	(5) NPO法人後見ネットかがわへの協力	47
(2) 市民後見人養成支援事業	29		
7. 生計困難者に対する相談支援事業	31		
8. 生活困窮者自立支援事業	31		
(1) 生活困窮者自立相談支援事業	31		
(2) 子どもの学習支援事業	32		
(3) 家計改善支援事業	33		
(4) 就労準備支援事業	33		

事業報告の概要

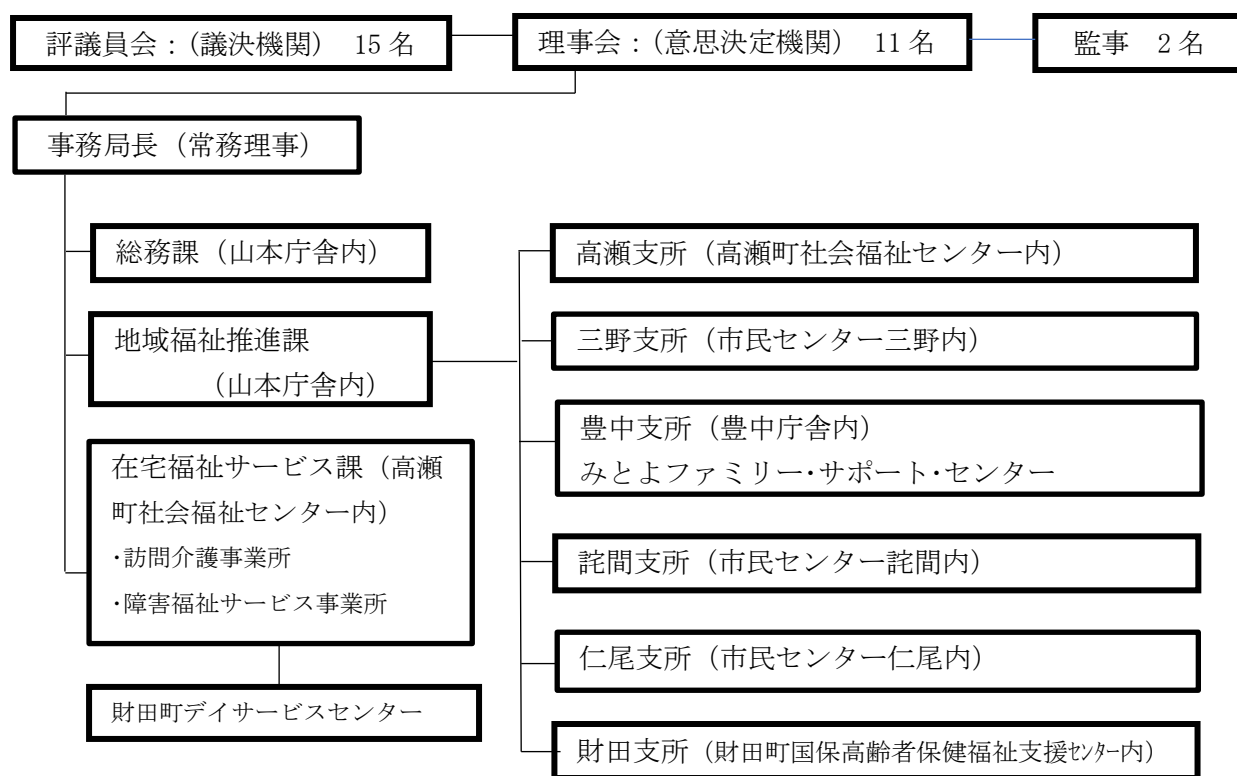
三豊市社会福祉協議会は、市民が住み慣れた地域でみんなが助け合い、一緒に支え合うことのできる暮らしやすい地域づくりをめざし、『くらし・こころ・みらい「豊かなまちづくり」』を基本理念に、地域の皆さま、行政、福祉関係者等と連携しつつ各事業の取り組みを進めてきました。

さらに、地域の“つながり”や“ささえ合い”が途切れることなく、お互いの暮らしを気かけ生きがいを持って暮らせるための第4期三豊市地域福祉活動計画、通称「まるみプラン」を基に会員や関係機関・団体をはじめ、企業やNPO等多様な主体とも連携・協働しながら、地域における見守り・助け合いを推進し、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現に取り組みました。

以下、令和7年度の具体的な事業実績等について報告します。

組織図・職員状況等

(令和8年3月31日現在)



【職員体系】 ※常勤職員数

事務系	・事務局長(市派遣) 1	・正職員 15	・有期雇用職員 11	・嘱託 1
介護系	・正職員 10	・有期雇用職員 5	・嘱託 2	合計 45名

1. 法人運営事業 事業費 105,319,327円

① 理事会・評議員会等の開催

<理事会>

開 催 日	議 事 等
第 91 回 令和 7 年 6 月 6 日 出席 理事 7 人 監事 2 人 欠席 理事 4 人 欠員 理事 1 人	報告第 1 号 会長専決事項について 議案第 1 号 令和 6 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 6 年度収支決算について 議案第 3 号 令和 7 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 4 号 次期評議員選任候補者の推薦について 議案第 5 号 次期役員（理事・監事）候補者の選定について 議案第 6 号 第 75 回評議員会(定時評議員会)の招集について
第 92 回 6 月 24 日 出席 理事 8 人 監事 2 人 欠席 理事 3 人	報告第 1 号 第三者委員の委嘱について 議案第 1 号 会長、副会長、常務理事の選定について
第 93 回 9 月 22 日 出席 理事 10 人 監事 2 人 欠席 理事 1 人	報告第 1 号 会長専決事項について 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和 7 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 諸規程等の一部改正について 議案第 4 号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第 5 号 第 76 回評議員会の招集について
第 94 回 令和 8 年 12 月 10 日 出席 理事 8 人 監事 1 人 欠席 理事 3 人 監事 1 人	報告第 1 号 福祉バス廃止に伴う代替え案について 議案第 1 号 令和 7 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 定款の一部変更について 議案第 3 号 第 77 回評議員会の招集について
第 95 回 3 月 4 日 出席 理事 10 人 監事 2 人 欠席 理事 1 人	報告第 1 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 令和 7 年度第 4 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 8 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 8 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の制定並びに一部改正について 議案第 6 号 役員等賠償責任保険の契約について 議案第 7 号 評議員選任候補者の推薦について 議案第 8 号 役員（理事）候補者の選定について 議案第 9 号 第 78 回評議員会の招集について

<評議員会>

開 催 日	議 事 等
第 75 回 令和 7 年 6 月 24 日 出席 評議員 12 人 監 事 1 人 欠席 評議員 3 人	議案第 1 号 令和 6 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 6 年度収支決算について 議案第 3 号 令和 7 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 4 号 次期役員(理事・監事)の選任について
第 76 回 10 月 7 日 出席 評議員 15 人 監 事 2 人	議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和 7 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 諸規程等の一部改正について
第 77 回 12 月 23 日 出席 評議員 14 人 監 事 2 人 欠席 評議員 1 人	議案第 1 号 令和 7 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 定款の一部変更について
第 78 回 令和 8 年 3 月 18 日 出席 評議員 15 人 監 事 2 人	議案第 1 号 令和 7 年度第 4 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 8 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 8 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の制定並びに一部改正について 議案第 6 号 役員(理事)候補者の選任について

<監事会>

開 催 日	議 事 等
令和 7 年 5 月 26 日 出席 会長・監事 2 人	令和 6 年度事業報告について 令和 6 年度収支決算について

<評議員選任・解任委員会>

開 催 日	議 事 等
令和 7 年 6 月 6 日 出席 外部委員 2 人 監 事 1 人 事務局員 1 人	次期評議員の選任について
令和 8 年 3 月 4 日 出席 外部委員 2 人 監 事 1 人 事務局員 1 人	次期評議員の選任について

② 役職員等研修会

役職員等が、三豊市社協は具体的に「どのような地域を目指しているのか」また、そのために「事業・活動等をどのように進めていくのか」、といった組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、これらの共通理解をもって日々の業務・実践にあたることが重要なことから、県社協等が開催する研修会等に参加した。

開催日等	内容等
令和7年4月24日 ～令和8年2月9日 職員3名	令和7年度社協職員基礎研修Ⅰ（全3回）（高松市）
令和7年5月9日 事務局長	令和7年度香川県内社会福祉協議会連絡協議会理事会（高松市）
令和7年7月12日 職員6名	第22回四国地域福祉実践セミナーin高知・黒潮(Web)
令和7年11月7日 常務理事	令和7年度第1回県内社協常務理事・事務局長等セミナー（高松市）
令和7年11月19日 常務理事	県社協地域福祉推進委員会（高松市）
令和7年11月27日 常務理事・職員6名	四国ブロック市町村社会福祉協議会研究協議会(Web)
令和8年1月23日 常務理事・職員3名	香川県内社会福祉協議会実践研究大会（高松市） （参加3名・発表1名）
令和8年2月10日 常務理事	県社協地域福祉推進委員会（高松市）
令和8年2月15日 常務理事・職員29名	令和7年度三豊市災害ボランティアセンター運営訓練（三豊市）
令和8年2月20日 常務理事	令和7年度第2回県内社協常務理事・事務局長会（高松市）

③ 自主財源の確保

（ア）会員の募集

市内全域及び地区の福祉活動の推進のため、会費の納入について協力を自治会長等をお願いした。

- ・一般会費（一口 500 円）
令和7年度 16,535 戸 8,255,300 円
（令和6年度 16,766 戸 8,371,930 円）
- ・賛助会費（2,000 円以上）
令和7年度 35 件 232,000 円
（令和6年度 40 件 242,000 円）

※一般会費と賛助会費合計 8,487,300 円

<一般会費内訳>

地区	戸 数	実績額	地 区	戸 数	実績額
高瀬	3,708	1,854,000	詫間	3,691	1,843,300
山本	1,713	856,500	仁尾	1,562	771,000
三野	2,256	1,128,000	財田	996	498,000
豊中	2,609	1,304,500	市外	0	0
			合計	16,535	8,255,300

(イ) 社会福祉事業への寄附金等（寄附金・物品寄附）

寄附者の意に沿うよう「地区社協」の活動助成を行う等、地域福祉に係る活動を支援した。

<寄附の内訳>

※（ ）内は前年度末

項 目	件 数	金 額
寄附金	18 (23)	1,692,297 (3,608,483)
物品寄附 (AED、耐火金庫、ポスター・リンター、 車いす、複合機)	5 (1)	80,385 (30,000)
合 計	23 (24)	1,772,682 (3,638,483)

④ 地区社協への助成

地区社協の地域福祉活動に対し助成金を交付した。

<各地区社協の状況>

24 地区社協 助成金総額 6,128,760 円

地区	地区社協	設立年月	主な活動内容
高瀬	勝間	S53.4	元気会、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・年賀状配布、福祉用備品設置等
	上高瀬	S46.4	元気会、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
	二ノ宮	S53.4	元気会、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流等
	比地二	S53.4	元気会、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・年賀状配布等
	麻	S47.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・園児が育てた鉢植えの配布、福祉用備品設置等
山本	辻	H19.3	ぼだい山登山、防災研修、敬老会、高齢者等訪問、しめ縄作り、交通安全教室、奉仕活動、ウォーキング、地区社協だより等
	河内	H19.3	ふれあい交流活動、健康ウォーキング、自主防と共催での研修活動、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等

	財田大野	H19. 3	三世代交流活動、ウォーキング、防災講習、寄せ植え、凧揚げ大会、敬老会、高齢者等訪問、知行寺山実態調査、ミニ門松作り、地区社協だより等
	神田	H19. 3	役員研修旅行、秋の野山を歩こう、立石山登山、男性料理講習、ウォーキング(宝山湖・お花見)、敬老会、高齢者訪問、自主防災講演会、地区社協だより等
三野	下高瀬	H18. 4	子ども・高齢者対象交流事業(新入生傘等配布、はがき交流等)、サロン支援、防災、見守り活動、下小モーニング、三野地区まるみプラン活動等
	吉津	H18. 4	子ども・高齢者対象交流事業(昔遊び体験、はがき交流等)、サロン支援、防災、見守り活動、三野地区まるみプラン活動等
	大見	H18. 4	子ども・高齢者対象交流事業(幼そうめん流し、高齢者栄養教室、はがき交流等)、サロン支援、防災、見守り活動、三野地区まるみプラン活動等
豊中	桑山	H17. 12	高齢者訪問、施設訪問、まるみウォーキング運営支援、子ども見守り隊活動等
	比地大	H17. 8	安全パトロール、ひとり暮らし高齢者等訪問、サロン支援、まるみウォーキング運営支援、福祉だより発行等
	笠田	H18. 2	地域づくり講演会、ひとり暮らし高齢者訪問、まるみウォーキング運営支援等
	上高野	H18. 5	配食サービス、福祉推進月例会、まるみウォーキング運営支援、歩いてみよう会(防災訓練等)ちくわだより発行等
	本山	H17. 8	友愛訪問、高齢者訪問、敬老会、まるみウォーキング運営支援等
詫間	松崎	H21. 1	見守り活動、ふれあい会食、サロン支援、地区史編さん作業、里山ハイキング、敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、防災フェスタ協力等
	詫間	S42. 3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、防災フェスタ協力等
	大浜	S42. 3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力等
	箱浦	H21. 4	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、海浜清掃活動協力等
	栗島・志々島	S42. 3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、防災フェスタ協力、海浜清掃活動協力等
仁尾	仁尾	H18. 6	敬老会(訪問・安否確認)、福祉ポスター募集・展示、サロン支援、見守り活動、夏休み親子料理教室、ファミリーうどん打ち体験等

財田	財田	H18. 11	高齢者友愛訪問(おはぎ、弁当)、世代間交流ウォーキング、パフォーマンスシアター、役員研修、高齢者と年賀状交流(小学生に依頼)
----	----	---------	--

2. 地域福祉事業 事業費 7, 888, 608円

(1) 地域福祉活動推進事業 事業費 2, 025, 424円

① 福祉協力員の設置支援

小地域福祉活動の活性化や援助活動等の担い手である福祉協力員等を設置している6地区社協に対し、要綱に基づき助成金を交付した。

<助成状況>

地区(設置地区社協)	人数	助成額	活動内容
高瀬地区			
麻地区社協	6	12,000	
二ノ宮地区社協	7	14,000	地域の見守り
上高瀬地区社協	9	18,000	元気会やサロンの補助等
勝間地区社協	10	20,000	
比地二地区社協	8	16,000	
豊中地区			
上高野地区社協	45	90,000	地域の見守り サロンの補助等
合計	85	170,000	

② こんにちはコール

ひとり暮らし高齢者等に、電話訪問員(ボランティア)が電話を通じて話を聴くことで、安否の確認と孤独感の緩和を図るとともに、民生委員・児童委員等と連携をとりながら見守り活動の充実を図ることを目的に実施した。

○実施内容

月2回(第2・4水曜)ボランティアゆうゆうの会により本所(山本)にて実施

○利用者数 計9人

③ 緊急医療情報キット(まるみちゃん安心キット)の設置

緊急医療情報キットの設置は、主にひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある人などを対象に、緊急時に迅速な救急活動を円滑に行うため、かかりつけ医・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した書類を容器(キット)に入れて保管しておき、緊急時に役立てることを目的に実施した。

民生委員・児童委員の協力により新たに必要とする方へ設置し、併せて年1回(年度始め)の更新を実施した。また、消防署より年度内の安心キット活用事例について情報提供を頂き、普及啓発に努めた。

<キット設置状況>

地区		高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	合計
区分	①	2	9	3	1	12	9	3	39
	②	2	0	2	0	0	3	0	7
	③	0	0	2	1	0	0	0	3
	④	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0
年度内設置計		4	9	7	2	12	12	3	49
年度末設置世帯		89	60	50	47	161	97	32	536
年度末登録人数		97	63	92	57	193	112	40	654

- 【区分】 ① 65歳以上の者のひとり暮らし世帯
 ② 65歳以上の者のみで構成されている世帯(高齢者世帯)
 ③ 65歳以上の者が含まれる世帯(高齢者同居世帯)
 ④ 障がいのあるひとり暮らし世帯
 ⑤ その他

④ 福祉器具貸出

車イス：年度末現在 94 台所有

(内、市民への貸出可能台数 65 台、施設等常設 20 台、デイサービス専用 9 台)

<車イス貸出件数>

高瀬地区	46	詫間地区	21
山本地区	18	仁尾地区	9
三野地区	9	財田地区	10
豊中地区	18	合 計	131

・その他、高齢者疑似体験セット、歩行器、スロープ、松葉杖の貸出を実施した。

⑤ チャイルドシート・ジュニアシート、ベビーバス貸出

乳幼児の保護者等に、チャイルドシート等を貸出することにより、乳幼児の健全な成長を支援するとともに、子育て中の保護者等(里帰り・帰省時)に係る経済的な負担や、乳幼児交通事故防止、交通事故被害者の軽減を図ることを目的に実施した。

<月別利用者数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
シート	15	10	10	18	12	8	13	16	18	7	5	15	147
ベビーバス	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	6

⑥ 実習生受入事業

社会福祉士養成校 2 校より実習生 2 人(長期実習 1 人、短期実習 1 人)を受入れた。長期実習として令和 7 年 6 月 30 日～令和 7 年 8 月 1 日のうち 27 日間、短期実習として令和 7 年 8 月 19 日～9 月 10 日のうち 7 日間、ソーシャルワーク実習を行った。

（２）相談事業 事業費 1, 549, 318円

地域住民の日常生活に関する問題を法律上に関して弁護士による「法律相談」を開催した。

①法律相談

地域住民が日常生活における問題・紛争等の解決に、法律の知識を要するものについて、香川弁護士会と連携し、弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けた。

＜相談状況等＞ 相談：毎月３回（第１・２・３火曜日）開催

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	23	43	その他（土地の境界、自治会のトラブル、近所とのトラブル）
山本	22	42	財産（相続・相続放棄・遺言）
三野	20	31	人権・法律
豊中	28	23	家族
詫間	25	12	結婚・離婚
仁尾	20	7	住宅
財田	22	6	職業・生業
合計	160	4	事故（交通事故・損害保険）
		3	苦情
		2	児童福祉・母子保健
		1	高齢者福祉
		1	精神保健
		175	合計

※相談分累計は、相談内容ごとの集計にて相談件数と一致しない。

（３）福祉バス管理運営事業 事業費 366, 791円

地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とする事業の実施及び、社会福祉活動への住民参加のための援助を目的として福祉バスを運行した。令和７年６月、車両故障により、廃車・売却とし、令和８年１月以降は代替措置として助成金（年１回、上限４万円）の交付により対応することとなった。登録団体に周知し４件の申請があった。

＜月別運行状況＞ 令和８年３月末現在 利用登録団体：131団体 登録運転手３名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運行回数	4	4	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	14
延利用者数	64	63	101	－	－	－	－	－	－	－	－	－	228

※福祉バス（平成１７年１月登録：乗車定員２５人）

（４）認知症サポーター養成講座事業（三豊市受託事業）事業費 16,000円

地域で認知症についての正しい理解や接し方について、知識を深める取り組みとして、認知症サポーター養成講座事業を開催した。

小学校では、認知症に係る寸劇に児童や担任の先生も参加をお願いすることで、より認知症の理解を深めることができた。

＜養成講座＞ ※サポーター数は教師も含む

開催日	受講先	受講人数（サポーター数）
令和7年5月20日	詫間小学校 6年松組	29
5月22日	詫間小学校 6年竹組	28
5月22日	詫間小学校 6年梅組	28
6月3日	下高瀬小学校 6年	35
6月6日	山本小学校 5年1組	23
6月6日	山本小学校 5年2組	23
6月9日	本山小学校 5年生	24
6月24日	笠田小学校 6年生	20
7月3日	勝間小学校 5年生	30
7月4日	上高瀬小学校 6年1組	20
7月4日	上高瀬小学校 6年2組	19
7月8日	和光中学校 2年生	19
7月11日	麻小学校 6年生	20
7月14日	曾保小学校 5.6年生	3
10月21日	詫間中学校 2年1組	34
10月21日	詫間中学校 2年2組	34
10月21日	詫間中学校 2年3組	34
10月27日	二ノ宮小学校 5.6年生	23
10月28日	吉津小学校 5年生	26
12月18日	桑山小学校 5年生	16
令和8年1月27日	比地大小学校 5年生	21
1月16日	笠田小学校 4年生	19
2月5日	財田小学校 5年生	22
小学校：19回 中学校：4回		550

（５）生活支援体制整備事業（三豊市受託事業）事業費 1,408,257円

介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施のため、高齢者の困りごとを解決していくことや、子ども、障がいのある人も含め福祉制度の分野にかかわらず“支援を必要とする全ての住民が、よりよく暮らすために地域の支え合いのしくみづくり”を推進していくことを目的に実施した。また、この事業について職員間で共通認識を持つため、毎月定期的に地区担当職員(第2層生活支援コーディネーター)間で意見交換や協議を重ね、中学校区に計7地区の第2層協議体にて情報共有や協議を重ねている。

① 資源開発

介護予防ボランティア講座およびフォローアップ講座を実施し、地域の担い手の確保と社会参加のきっかけ作りを行った。

<介護予防ボランティア養成講座>

開催日／開催場所	内 容	受講人数
令和7年12月8日 9:40～15:00 みとよ未来創造館 会議室A・B	・三豊市における介護保険制度と認知症の方への関わり方、サービスBについて／講師：三豊市地域包括支援センター ・ボランティア活動のすすめと秘密保持について／講師：三豊市社会福祉協議会 ・ボランティアさん自身が普段からできる体操／カラダラボ ・清潔保持と健康管理について・活動中における緊急時の対応について／講師：三豊総合病院保健師	40

<介護予防ボランティアフォローアップ講座>

開催日／開催場所	内 容	受講人数
令和8年3月4日 14:00～15:30 市民交流センター大ホール	・ボランティア活動にも活かせる療法的音楽活動のススメ 講師：岩永 十紀子氏	22

② ネットワークづくり

日常生活圏域において、多様な日常生活上の生活体制の充実・強化及び高齢者等の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に、各地域の住民等による情報共有・話し合いを行った。

<第2層協議体>

地区・協議体名	年間開催数	参加総人数
高瀬地区協議体 「朝日の会」他	26回	158名
山本地区協議体 「どんぐりの会」他	20回	157名
三野地区協議体	28回	559名
豊中地区協議体 「とよなかタイム」他	20回	164名
詫間地区協議体 「ゆるりっと」他	25回	304名

仁尾地区協議体 「ふれあいおしゃべり会」他	15 回	98 名
財田地区協議体	15 回	175 名

合計 149 回

延 1,615 名

<地区担当者会>毎月 1 回 12 回開催

開 催 日	
令和 7 年 4 月 2 日	10 月 1 日
5 月 1 日	11 月 4 日
6 月 9 日	12 月 2 日
7 月 1 日	令和 8 年 1 月 5 日
8 月 1 日	2 月 3 日
9 月 1 日	3 月 2 日

(6) 三豊市こどもの居場所づくり事業 (三豊市受託事業)

事業費 2,522,818 円

市内のこども食堂やその他、こどもの居場所づくりに関わる団体等とのネットワークを構築し、横のつながりによる活動の広がりや情報共有を深めるためネットワーク会議を実施した。また、継続的な事業となるよう、随時相談・支援活動の実施、こども食堂等の活動に必要な食材の提供や、情報の共有を図るとともに助成金の交付を行った。

<事業内容>

① こどもの居場所づくりに関わる団体への相談・支援活動内容		活動件数
相談・支援 活動の状況	相談・支援窓口の設置	281 件 ※内相談数 127 件 ※その他対応数 154 件
	こどもの居場所づくり専用ホームページの運営	随時
	食材、物品提供の分配	406
	助成金、研修会等情報提供	191
	合計	878
	助成金交付実績 10 団体	合計 1,150,000 円

② ネットワーク会議の会員向け勉強会(交流会)の開催

	ネットワーク会議	開催日	内容 / 講師	参加数
開催状況	三豊市こどもの居場所づくりネットワーク会議	8/28(木)	「こども食堂とこども性暴力防止法」オンラインセミナー (社協高瀬支所)	8 人
		12/2(火)	「ニオノチルビレッジ」活動紹介、食品配布	22 人

			(ニオノチルビレッジ)	
		3/12(木)	「キッズラボぐりっと」「みんな食堂」「お話会」「いこいの広場」活動紹介、食品配布、情報交換 (チャイルドハウスみとよ いこいの広場)	21 人

(延 51 人)

③ 農業生産者、小売り業者等提供活動者との連携

マッチング・協議件数	(株)OFA、YATA 農園、(株)四国日清食品、(株)フードテック、(株)松本光春商店、東洋炭素(株)詫間事業所、個人ボランティア 他		105 件
登録会員数 令和 8 年 3 月	運営会員	団体 17	延 38 件
	応援会員	個人 8、団体 13	

④ その他

情報提供	発行物：広報紙(社協しちふく) ホームページへの掲載 (社協内専用ホームページ・全国こども食堂支援センター・むすびえ)
フードドライブ	通年実施中のフードドライブにおいて、市内 4 店舗ファミリーマート並びにゆめタウンみとよ店にそれぞれ毎月 2 回職員が食品回収に廻り、市内こどもの居場所への活用、子育て家庭への配布や食品配布会に、随時分配を行った。
ひとり親家庭・困窮子育て家庭等を対象とした食品配布	市内 NPO の実施するひとり親家庭・困窮子育て家庭等を対象とした食品配布会について、今年度も継続して活動協力を行った。市内企業、農家等から定期的に提供いただく冷食や野菜の提供、通年実施中のファミマフードドライブ、ゆめタウンみとよ店でのフードドライブで集められた食材、地域住民より寄付していただいた食材、日用品などの物品などを随時提供するとともに、介入家庭に対する関わりの共有を行った。
助成金、寄付金	全国こども食堂ネットワークむすびえ、県社会福祉協議会等と連携し、外部団体、財団等の各種助成金を運営会員に随時情報提供し、活動に必要な経費の補填や活動の幅を広げられるよう働きかけを行った。また、申請手続きを行う際の推薦書記載や不明点等へのサポートを行った。 観音寺ロータリークラブ、ソロプチミスト観音寺をはじめ、近隣の団体より活動に賛同し寄付金を受けたり、市民の方より当事業への指定寄付をいただく機会が増加した。

3. 共同募金配分事業 事業費 14,029,498円

(1) ボランティア活動推進事業 事業費 413,437円

ボランティア活動の推進や地域活動者の人材育成に向け、学生を対象とした「チャレンジボランティア講座」を実施した。外部講師を招き、地域活動に興味のある方、空いた時間を使い地域の役に立ちたい方向けの「大人のボランティア講座」を開催した。また、引き続きボランティア活動希望者へ活動の紹介を行った。

(対象：三観地区 5 高校・市内 7・市外 1 中学校)

参加実績 13 校 96 人(延 146 人参加)

	コース名 (協力団体)	開催日	参加人数
1	点字訳ボランティア (点訳サークルアイ・みとよ)	7/24(木)	6
2	音声訳ボランティア (みとよ音声訳の会「ぽかぽか」)	7/26(土)	4
3	こどもの居場所ボランティア (キッズラボぐりっと)	8/17(日)	0
4	こどもの居場所ボランティア・ふれあい食堂 (NPO 法人日和)	7/27(日)	2
5	夏休み宿題大作戦ボランティア(下高瀬) (チャイルドハウスみとよ・三野地区まるみプラン 実行委員会・社協三野支所)	7/23(水)	5
6	夏休み宿題大作戦ボランティア(大見) (三野地区まるみプラン実行委員会・社協三野支所)	7/28(月)	1
7	夏休み宿題大作戦ボランティア(吉津) (三野地区まるみプラン実行委員会・社協三野支所)	7/30(水)	5
8	こどもの居場所ボランティア・みんな食堂 (NPO 法人しあわせごはん食の力)	7/26(土)	3
9	三野こども祭りボランティア (みの元気塾・まちづくり推進隊三野・社協三野支 所)	7/27(日)	12
10	こども寺子屋ポスター教室ボランティア (みの元気塾)	7/29(火)	3
11	赤ちゃんサロンボランティア (わくわくスキンシップたいむ香川)	7/31(木)	3
12	高齢者配食見守りボランティア (みのむつみ会・PAS ボランティア・みの元気塾)	8/8(金)	3
13	大見盆踊り大会ボランティア (公民館大見分館)	8/13(水)	15
14	そうめん流しボランティア (大見地区社会福祉協議会)	8/22(金)	6
15	ふれあい広場ボランティア (豊中町愛育会)	7/25(金)	14

16	街角喫茶ボランティア (上高野街角喫茶)	8/4(月)	6
17	こどもの居場所ボランティア・こどもサニーハウス (NPO 法人子育て応援 NPO フレンズ)	8/5(火)	3
18	100 円モーニングボランティア (ボランティアはなみずき)	8/13(水)	6
19	お楽しみ会ボランティア (豊中町愛育会)	8/24(日)	14
20	ゴミ拾いボランティア (たくまちょびっとサポート隊)	7/21(月)	7
21	音楽ボランティア (詫間地区民生委員有志)	7/21(月)	2
22	音楽ボランティア (詫間地区民生委員有志)	8/18(月)	1
23	こどもの居場所ボランティア・ひまわりるーむ (NPO 法人ひまわり)	8/10(日)	6
24	こども食堂夏祭りボランティア・はびねすカフェ 夏祭り (たくまこども食堂 はびねすカフェ)	8/20(水)	7
25	オレンジかふえボランティア (オレンジかふえなごみ)	8/15(金)	5
26	こすもす広場ボランティア (こすもす広場)	7/25(金)	7

<大人のボランティア講座>

日 時	令和 8 年 3 月 8 日 (日) 13 : 30~15 : 15
会 場	三野町保健センター
講 師	名賀 亨 氏 京都ボランティア学習実践研究会 代表 (元大阪ボランティア協会事務局次長)
参加者数	37 名

<ボランティア活動保険加入状況>

※ () 内は前年度末

保険の種類	加入団体数・件数	加入数
ボランティア活動保険	74 団体 (68)	1,550 人 (1,555)
	個人加入	6 人 (6)
行事用保険	61 件 (78)	4439 人 (4,645)

(2) 福祉普及啓発事業 事業費 1,755,467円

① 福祉普及推進校(園)指定事業

市内の幼稚園児及び小学校児童や中学校生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やさしさ」を養うとともに、地域と連携した福祉教育の推進を目指すことを目的とする取り組みに対し、要綱に基づき助成金を交付した。

<助成状況>

区 分	実施数	助成額(円)	主な事業内容
幼稚園	14 園	420,000	夕涼み会、地域との交流(餅つき大会、タケノコ堀り他)、ファミリーレクリエーション等
小学校	16 校	780,000	父母ヶ浜清掃等の清掃活動、保幼小連携活動、高齢者福祉施設訪問、福祉体験学習、草刈ボランティア等
中学校	5 校	210,000	施設訪問、福祉コンサート、高齢者との交流、ふれあい看護体験等
高等学校	1 校	50,000	生徒が講師となり、保育所の子ども達と一緒に実験体験を行う
合 計	14 園 22 校	1,460,000	上限額：園 30,000 円/小・中・高 50,000 円

② 福祉体験学習への支援 (対象：市内小学校の主に5・6年生、中学生等)

子どもたちの福祉教育の一環として、主に市内小学校5・6年生を対象に福祉体験を実施した。担当教員と事前打合せ(体験をとおしたねらい、授業の進め方、体験後の福祉活動等についてのアドバイス等)を行った。

<体験内容>

体験内容	学校名など	延件数	延人数
高齢者等疑似体験	小学校 (15 件)、中学校 (2 件)、こども寺子屋(三野)	18	166
車イス体験	小学校 (13 件)、こども寺子屋(三野)	14	172
認知症サポーター養成講座	小学校 (19 件)、中学校 (4 件)	23	299
ダス	こども寺子屋(三野)	1	9
防災教室	こども寺子屋(三野)	1	5
合 計		57	651

※バリアフリーやユニバーサルデザインについては、各体験内容のすべてに含む。

③ ふくし川柳募集

川柳の創作と作品を通して、社会福祉の啓発・意識向上、福祉の大切さを広く伝えるため、「ふくし川柳」の作品を募集した。

今回は中学生からも多数の参加があり、総数 320 件の応募があった。入賞者には賞状と副賞を贈呈、三豊市社会福祉大会にて入賞作品を紹介するとともに、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載した。

<小・中学生の部>

応募総数	受賞内訳（人）
296 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 6

<一般の部>

応募総数	受賞内訳（人）
24 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 2

④ ファミリーフォトコンテスト

家族や地域とのつながりを再確認し、絆を深めるきっかけ作りとしてファミリーフォトコンテストを行った。

また、地域の若い世代に社協の存在・活動への関心を深めることに努めた。

なお、手軽に応募できるようメールでの申込みとし、68 件の応募があった。

作品は、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載するとともに公共施設にて展示した。

<審査結果>

応募総数	受賞内訳（人）
68 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 17

（３）居場所づくり推進事業 事業費 2,489,023円

ふれあい・いきいきサロン活動は、高齢者だけでなく、障がいのある人や子育て中の保護者、閉じこもり孤立しがちな人たちが、ボランティアである住民と共に地域の中で、いきいきと元気に生活できるつながりをもつ場（ふれあい・いきいきサロン）に対し、助成金を交付した。また、随時サロン新設等について相談対応を行った。

<高齢者サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
高瀬	32	△2	682	6,365	576,000
山本	12	0	156	2,425	206,000
三野	7	0	178	1,670	116,000
豊中	30	△2	405	4,216	475,000
詫間	11	0	281	3,431	266,000
仁尾	15	1	182	2,573	254,000
財田	6	1	93	665	85,000
計	113	△2	1,977	21,345	1,978,000

<子育てサロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
豊中	2	0	53	964	72,500
三野	1	0	10	148	25,000
計	3	0	63	1,112	97,500

<障害者サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	1	0	30	225	40,000

<毎日型サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
三野	1	0	112	7,136	100,000
豊中	1	0	293	1,595	100,000
財田	1	0	137	2,887	100,000
計	3	0	542	11,618	300,000

<サロン活動推進者研修会の開催状況>

地区	内 容
高瀬	令和8年2月5日 みとよ未来創造館 AB 会議室 「かかりつけ薬剤師・薬局をもちましよう ～薬と正しく付き合うには～」 香川漢方薬局 香川彰浩 氏（観音寺・三豊薬剤師会） 参加者：41 人／参加サロン数 21

山本	令和8年2月4日 山本庁舎2階大会議室 「笑う門には福来たる 毎日楽しく笑うには ～笑いヨガの進め方～」 佐藤 幸子氏 参加者：22人／参加サロン数 11
三野	令和8年2月24日 三野町生涯学習センター 「伝筆体験」 伝筆認定士 阿部 忍氏 「サロン活動報告」 西浜おさんぽばーじーず（三野町下高瀬） 綾 秀美氏 参加者：16人／参加サロン数 7
豊中	令和8年3月16日 市民交流センター 「エンディングノートの書き方セミナー」 第一生命保険株式会社 栗谷 準一氏 参加者：32人／参加サロン数 24
詫間	令和8年3月17日 市民センター詫間 「エンディングノートの書き方セミナー」 三豊市地域包括支援センター 参加者：14人／参加サロン数 9
仁尾	令和8年3月13日 市民センター仁尾 「家庭でできる防災対策」 防災士 黒川 太一氏 参加者：25人／参加サロン数 13
財田	令和7年12月11日 国保高齢者保健福祉支援センター 「オイルパステルを使って簡単なアート作品作り いろいろな線と色で遊ぼう」 臨床美術士 矢野 香氏 参加者：10人／参加サロン数 5

(参加者：延 160 人／参加サロン数：延 90)

(4) 広報啓発事業 事業費 2,009,069円

広報紙を年4回発行し、地域住民への福祉活動の啓発や、サロン活動等の地域福祉活動の情報発信を行った。

また、ホームページ等を活用しタイムリーな事業、スケジュール等の情報内容を更新する等、情報提供に努め随時発信を行った。また、災害が発生した際、被災状況やボランティアの必要など、現地の状況やニーズを正確に把握し、情報を発信する必要があるため、昨年度作成した災害ボランティアセンター特設ページを管理し、有事に備えた。

<「しちふく」の発行状況>

発行月	頁数	主な内容
令和7年 4月	16	ふれあいいきいきサロン助成金や各種助成金案内、ボランティア保険案内、七福通信、介護予防ボランティア講座、赤い羽根共同募金関連 他

7 月	12	令和 6 年度事業報告・決算、令和 7 年度事業計画・予算、市内サロン活動紹介、七福通信、福祉サービス援助事業(日常生活自立支援事業)他
10 月	12	夏のチャレンジボランティア講座 2025、ファミサポ養成講座、七福通信、赤い羽根共同募金のお願い、三豊市社会福祉大会案内他
令和 8 年 1 月	12	三豊市・香川県社会福祉大会報告、ふくし川柳、ファミリーフォトコンテスト、七福通信、三豊市こどもの居場所づくり事業、財田町デイサービスセンター紹介他

(5) 社会福祉大会開催事業 事業費 568,106 円

「第 20 回三豊市社会福祉大会(令和 7 年 11 月 18 日開催)」は、多年にわたり社会福祉の発展に貢献されている方々をはじめ、三豊市社協に心温まるご寄附をいただいた個人・団体の皆さまへ感謝の意を込めて表彰状並びに感謝状を贈呈した。

また、ふくし川柳の受賞者も同時に発表した。

次に、NPO 法人親育ちサポートかがわ理事長でもあり香川大学医学部小児科医（みとよ市民病院小児科非常勤医師）でもある 鈴木裕美氏をお招きし、ひきこもりの方へのポジティブな声かけについて講演を行った。

令和 7 年 7 月 11 日 令和 7 年度会長表彰候補者の推薦について(各種団体依頼)

9 月 22 日 第 20 回三豊市社会福祉大会実行委員会開催
受賞者の選考について・大会開催について

<第 20 回三豊市社会福祉大会の概要>

来場者数:約 160 人

開 催 日	主 な 内 容	場 所
令和 7 年 11 月 18 日	式典 (表彰) 民生委員・児童委員功労 26 名本会、社会福祉施設及び社会福祉団体等の役員 1 名 社会福祉事業奉仕者 35 名 社会福祉事業奉仕団体 2 団体 (感謝) 社会福祉事業協助者 7 名 社会福祉事業協助団体 9 団体 (ふくし川柳受賞者) 小中学生の部 9 名 一般の部 5 名 講演 『ポジティブな声かけできっかけづくり』	みとよ 未来創造館

	～支えられる人から、支える人へ～』 講師 鈴木 裕美 氏	
--	---------------------------------	--

(6) 災害対策推進事業 事業費 335,791円

① 職員訓練及び研修

災害発生時に迅速な対応ができるよう、職員研修及び訓練として、緊急連絡手段のツールであるインターネット回線を使った安否確認システムの運用や入力操作の確認を行ったほか、行政及び関係団体との連携強化や情報共有等を目的とした災害ボランティアセンター設置運営訓練等を実施した。

<訓練状況>

開催日	内 容	参加人数
令和8年 1月27日	三豊市社協災害時職員安否確認システム訓練 場所：三豊市社協各支所等 内容：グーグルフォームを利用した安否確認システムより、各職員メールアドレスへ安否確認回答フォームを一斉配信し、各自現在状況を返信することで状況把握を行う訓練を実施。	43
令和8年 2月15日	三豊市災害ボランティアセンター運営者研修 場所：みとよ未来創造館A・B会議室 内容：被災者の現状を正確に把握し、ニーズに寄りそった相談支援のポイントを知るとともに、生活再建支援に必要な制度や行政手続き等について学ぶ。	29

(延72人)

<研修会・訓練等の参加>

開催日	会議名	開催場所等
令和7年 5月26日	県内社協災害対応担当者連絡会	県社会福祉総合センター
6月6日	令和7年度災害ボランティアセンター運営者養成研修	県社会福祉総合センター
8月1日	さぬき市社協災害ボランティア講座参加	さぬき市社協
8月7日	香川県災害福祉支援センター設立セミナー	県社会福祉総合センター
8月8日	被災者の生活再建と支援制度を学ぶ研修会	香川県国際交流会館
9月5日	全国災害対策ローカルネットワーク構築事業 情報共有会議 IN かがわ	香川国際会議場
9月9日	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携 推進機構セミナー「災害と犯罪」	オンライン

10月14日	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー「ボランティア元年から30年、これまでと、これから ～課題は地元の受援力～」	オンライン
11月5日	令和7年度仁尾中学校避難訓練	仁尾中学校
11月9日	吉津地区防災訓練	吉津小学校
11月24日	たくま防災フェスタ 2025	マリンウェーブ
11月29日	麻地区防災訓練	麻公民館周辺
11月26日	令和7年度災害ボランティアセンター運営のための基礎講座	香川国際交流会館

② その他

防災意識の向上や災害ボランティアについて広く知ってもらえるよう、高校生向けの災害ボランティア講座を実施し、非常食試食体験等を行った。

開催日	内容
令和7年8月18日	令和7年度高校生向け災害ボランティア講座 ～非常食の試食と災害時にできることを考えよう～

(7) まるみプラン推進事業 事業費 5,476,276円

① 第4期三豊市地域福祉活動計画(まるみプラン)の推進

第4期計画を実践するため、様々な地域福祉ニーズに適切な対応をした。また、各地区(旧町)の地域福祉活動計画(まるみプラン)実行委員会や地区社協等が主体となり、活動の見直しや更なる取り組みを実施した。また、困窮支援訪問及び災害等有事に備え、軽自動車2台の整備を行った。

●基本目標1:“ひとづくり”では、福祉の心を育てる福祉教育の充実と啓発のため、出前講座や各種福祉体験、認知症サポーター養成講座を行い、福祉への関心と人権意識を高めた。また、ボランティアの育成として介護予防サポーター養成講座や大人のボランティア講座、中高生向けボランティア体験講座を実施し、新たな人材の確保につなげた。また、地域における権利擁護人材の育成のため、第2期市民後見人養成講座を実施した。

●基本目標2:“しくみづくり”では、

ふれあい・いきいきサロンやこどもの居場所など、それぞれの分野で担い手や活動者同士のネットワーク会議、各種交流会を実施し、活動の充実に努めた。一方で、地域の課題解決に対して取り組みを検討している活動者に対し、相談や助成金等の情報提供を行うことで、新たな居場所等の立ち上げにつながった。

●基本目標3:“きずなづくり”では、身近な防災をきっかけに防災意識を高めるとともに、地域の中で顔の見える関係づくりやきずなを強くすることを目的に、地域の関係機関を巻き込んだ高校生向け災害ボランティア講座を開催したり、地域の防災訓練に参加し、お互いの役割の相互理解や連携の強化に努めた。

また、誰もが気軽に相談できるよう、相談支援システムを活用しながら相談対応を行い、必要に応じて関係機関や地域活動者と連携し、継続的支援を行った。

＜地区実行委員会等の開催・運営＞

地区	委員人数	運営形体	開催数	実施事業
高瀬	開催事業に応じたボランティアスタッフ募集	まるみプロジェクト (プラットフォームとして)	事業 3	「子育て支援ステーションと共同、みーんな集まれ！秋まつり」 (参加者 67 人（親子）) 「地域向けレクリエーションの体験会」 (参加者 60 人) 「高瀬健康ウォーキング」 (参加者 32 人)
山本	19	全体会 地区社協会 長会・役員 会等	2 3	「宝山湖公園ウォーキング」 (参加者 125 人) 「お花見ウォーキング」 (参加者 112 人) 「長寿会行事への協賛」
三野	16	全体会 事業	5 19	「三野町子育て 10 か条」町内保・幼・小・中学校、各戸配布(啓発) 「町文化祭にて、まるみプラン実行委員会活動展示」 「ゴミ持ち帰り運動促進(各体育祭、みのふれあい祭り等でのぼり設置)」 「身の片付け講座」(参加者 19 人) 「三野ゆるボラ活動」 ① 夏休み宿題大作戦ボランティア (3 日間参加者 小学生 21 人、中高生ボランティア 11 人、) ② みんな食堂ボランティア (中高生ボランティア 3 人) ③ 三野こども祭りボランティア (中高生ボランティア 12 人) ④ こども寺子屋ポスター教室ボランティア(中高生ボランティア 3 人) ⑤ 赤ちゃんサロンボランティア (中高生ボランティア 3 人) ⑥ 高齢者配食見守りボランティア (中高生ボランティア 3 人) ⑦ 大見盆踊り大会ボランティア (中高生ボランティア 15 人) ⑧ 幼稚園そうめん流しボランティア (中高生ボランティア 6 人) ⑨ 赤い羽根共同募金街頭募金ボランティア(中高生ボランティア 10 人) 「親子料理交流会&ミニ健康講座」

				(参加者 小学生親子 7 組 15 人) 「外国食文化交流会」 (参加者 60 人/技能実習生 30 人、一般 30 人) 「男性料理交流会」(参加者 16 人) 「多文化交流会」 (参加者 57 人/外国人 32 人、子ども 4 人、一般 21 人) 「みのふるさと再発見ウォーキング」 (参加者 91 人)
豊中	24	全体会 リーダー会 集いの場 検討部会 事業	3 3 3 3	「豊中まるみウォーキング」 (参加者 191 人) 「豊中町文化祭にて活動パネル展示」 「豊中こども広場(小学生ニュースポーツ 体験、ホットドッグづくり)」 (町内小学生 31 人、スポーツ推進委員 10 人、学生ボランティア 4 人)
詫間	9	全体会等 事業	会議 4 事業 1	「たくま分散ウォーキング」 (松崎・詫間・大浜・箱浦、栗島・志々島) (参加者 214 人)
仁尾	16	事業	16	「福祉ポスター募集・掲示」 「見守り活動支援(地区社協共催事業)」 「ふれあいいきいきサロン備品整備」 「男の料理教室(公民館共催)」 「レディースキッチン(公民館共催)」 「ファミリーうどん打ち体験(公民館共 催)」 「親子料理教室(公民館共催)」 「タケノコ堀体験(公民館共催)」 「高齢者訪問活動(仁尾地区民協)支援」 「曾保地区防災訓練支援」
財田	30	全体会 事業	3 6	「高齢者世帯おはぎ・弁当配食サービス」 「理事会研修会」 「90 歳以上対象 年賀状交流活動(小学校 高学年児童へ依頼)」 「パフォーマンスシアター(腹話術・大道 芸) 多世代交流活動」 「宝山湖ウォーキング」

② 地域福祉活動に対する助成金交付

- ・各地区地域福祉活動計画経費として、共同募金助成事業より経費を充当した。
- ・各地区とも 150,000 円の助成金を原資に地域での活動を実施した。

③ 困窮世帯に対する物品の配布

即時支援に利用できる食材や消耗品等を整備し、必要な世帯へ配布した。

④ 軽自動車の整備

既存リース車輦入替につき、困窮支援訪問用及び災害時の資機材運搬用として2台整備した。

(8) 地域活動応援事業 事業費 982,329円

分野を問わず、地域の中の困りごとをニーズキャッチし、地域共生社会のための居場所づくりや見守り等を行う事業の相談及び助成金による支援を行うことで、活動の後押しができた。また、助成金活用等の相談を行うなか、各種団体との関係構築や地域資源の把握などに繋げた。

① 地域活動応援事業（小地域活動に対する助成金交付）

<交付状況 7 団体>

(単位:円)

活動地域	活動内容	件 数	助成金額
高 瀬	新規居場所づくり立ち上げ	1	120,540
山 本	居場所づくり	1	50,000
		1	50,000
		1	50,000
三 野	配食サービス	1	50,000
	新規居場所づくり立ち上げ	1	200,000
豊 中	啓発活動	1	50,000
	居場所づくり	1	50,000
詫 間	ボランティア	1	50,000
財 田	居場所づくり	1	45,000
合 計		10	715,540

② 見守り活動助成事業（高齢者声かけ見守り活動に対する助成金交付）

<交付状況：6 団体>

(単位:円)

活動地域	対象者数	助成金額
高 瀬	21	50,000
山 本	160	40,000

三 野	27	50,000
詫 間	30	50,000
豊 中	27	35,000
	15	50,000
合 計	280	275,000

4. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

事業費 14,269,955円

低所得・障がい・高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的自立・生活意欲の助長促進・在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、民生委員・児童委員、三豊市、県社協と連携し相談支援を行った。

① 生活福祉資金貸付事業

事業費 219,030円

<相談・貸付状況>

資金種別	相談件数	貸付件数	免除件数	備考
福祉資金(福祉費)	21	0	2	福祉費（更生資金）2件
福祉資金(緊急小口)	13	0	0	
教育支援資金	20	1	0	教育支援費・就学支度費 793,000円
総合支援資金	0			
不動産担保型	1	0	0	
要保護不動産担保型	0	0	0	
合 計	55	1	2	

② 生活福祉資金特例貸付事業

事業費 14,050,925円

コロナ禍による減収または失業された方に対する特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)を利用された方の債権管理事務及びフォローアップ支援に取り組んだ。

<令和8年3月末現在償還状況>

(単位:件)

資金種別	貸付件数	償還中	免除件数	償還 猶予中	償還完了
コロナ特例貸付(緊急・総合)	627	102	296	1	87

5. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（県社協受託事業）

事業費 12,805,963円

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などにより、判断能力が不十分な方が地域で自立した生活を送れるよう支援を行った。具体的には、本人との契約に基づき、次のような援助を実施した。

- ・福祉サービス利用援助…必要な手続きの支援や、サービス利用に関する情報提供・関係機関との調整など。
- ・日常的金銭管理…公共料金の支払い、年金の受領確認、生活費の払戻しなど、日常生活に必要な金銭管理を支援。
- ・書類等の預かり…通帳や年金証書等、重要書類の保管を行い、紛失や不正利用を防止。

<相談・援助件数>

内 容	本事業の利用に関するもの・その他				合 計
対 象 者 事 項	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	0	0	1	0	1
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	16	4	5	2	27
c. 相談援助件数 (a・b 以外)	1,681	1,085	1,425	694	4,885
合 計	1,697	1,089	1,431	696	4,913

<利用者の状況>

(単位:人)

対 象 者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
新規契約者	10	2	0	0	12
契約終了者	2	2	0	0	4
令和7年度末利用者	24	15	14	10	63

(内:生活保護受給者 10人)

専門員・生活支援員の活動について

専門員8人と生活支援員登録19人のうち13人が利用者に対し、訪問を行った。

<関係機関との会議・研修受講・広報等>

開 催 日	会 議 名	開催場所
令和7年6月3日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	県社会福祉総合センター
令和7年5月30日	新規登録生活支援員研修会	県社会福祉総合センター
令和8年2月4日	生活支援員等ブロック別研修会 (西会場)	観音寺市社会福祉センター

令和7年10月31日 令和7年12月19日 令和8年2月13日	令和7年度 持続可能な権利擁護支援モデル事業実施自治体等連絡会 (第2回・第3回・第4回)	Zoom オンライン
令和7年4月22日 令和7年7月24日 令和7年10月28日 令和8年1月27日	三観地域自立支援協議会 全体会	観音寺市社会福祉協議会 観音寺市社会福祉協議会 観音寺市役所 観音寺市社会福祉協議会
令和7年10月8日	三野地区 民生委員協議会 「三豊市社協の権利擁護事業について」	市民センター三野

6. 法人成年後見等事業 事業費 6,550,900円

(1) 法人成年後見等事業 事業費 6,186,329円

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方に対し、家庭裁判所から選任を受け、本人の意思を尊重しつつ、生活状況に応じた身上監護および財産管理を実施した。

ケースの内容に応じて、弁護士と複数名で受任しているケースがあるほか、市民後見人が担当するケースの確認・助言・調整などの監督業務も担っている。

なお、後見等報酬（手数料）は、家庭裁判所の審判により決定され、その判断に基づき受領している。

<受任状況>

類 型	成年後見	保 佐	補 助	監 督	合 計
令和6年度まで累計件数	16	14	2	1	33
令和7年度選任件数	1	0	0	0	1
令和7年度終了件数	0	1	0	0	1
令和7年度末受任件数	10	7	1	1	19

<利用者の年代別>

年 齢	90歳以上	80歳代	70歳代	60歳代	50歳代	50歳未満
人数	5	6	2	3	3	0

(生活保護受給者1名)

三豊市法人成年後見事業検討委員会の設置

法人成年後見等事業の適正な運営を確保するため、「三豊市法人成年後見事業検討委員会」を設置している。本委員会は、法人として後見受任を行う際の受任適否の判断や、後見業務の実施状況に関する指導・助言を行うことを目的としている。

委員会では、本人の状況や事案の複雑性、利益相反の可能性などを踏まえ、法人として受任することが適切かどうかを審議するとともに、受任後の業務遂行に関しても継続的に助言を受ける体制を整えている。これにより、法人後見業務の透明性と公正性を確保し、利用者の権利擁護の強化につなげている。

＜委員会構成＞

選 出 区 分	選出団体等
学識経験者	四国学院大学社会福祉学科教授 香川県福祉サービス運営適正化委員会委員長
三豊市社協 役職員	三豊市社協 監事
弁護士	香川県弁護士会
司法書士	リーガルサポート香川
社会福祉士	公益社団法人香川県社会福祉士会
行政機関関係者	三豊市福祉課
	三豊市介護保険課

＜委員会＞

開 催 日	内 容	開催場所
令和 8 年 1 月 6 日	第 32 回検討委員会 ・新規受任ケース(1 件)について審議	高瀬町社会福祉センター
令和 8 年 3 月 16 日	第 33 回検討委員会 ・令和 7 年度 法人後見等事業について	高瀬町社会福祉センター

＜関係機関の会議・研修受講等＞

開 催 日	会 議 名	開催場所等
令和 7 年 4 月 23 日 令和 7 年 10 月 6 日	権利擁護担当者会議	県社会福祉総合センター Zoom オンライン
令和 7 年 10 月 16 日 令和 8 年 3 月 13 日	中核機関等連絡会議	県社会福祉総合センター Zoom オンライン
令和 8 年 1 月 8 日	三豊市成年後見制度利用促進審議会	三豊市役所
令和 8 年 2 月 2 日	成年後見制度市町長申立に係る研修会	高松市商工会議所
令和 8 年 2 月 2 日	意思決定支援研修会	高松市商工会議所
令和 8 年 2 月 26 日	せとの家 運営推進会議	グループホームせとの家

(2) 市民後見人養成支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 364,571円

① 市民後見人の養成とフォローアップ

後見人等の活動を担う人材の確保が課題となっており、弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門職だけでなく、地域住民が担い手となる市民後見人の育成が期待されている。本会では令和 2 年度に第 1 期 市民後見人養成講座を開催し、令和 6 年度に市内第一号の市民後見人が誕生している。市民後見人は、地域共生社会の実現に向けた人材としても重要な役割を担うことから、令和 7 年度に第 2 期市民後見人養成講座を開催し、7 名の受講生が受講・修了し、市民後見人候補者として名簿登録を行った。これにより、1・2 期生通算の登録者は 17 名となっている。市民後見人及び市民後見人候補者に対してフォローアップ研修を開催し、活動に向けたスキル習得に励んだほか、今後の活動の意向確認等の面談を行った。

＜市民後見人養成講座＞ 開催場所：高瀬町社会福祉センターほか

開催日	内 容	講 師
令和7年 9月2日	・開講式 ・成年後見制度の基本理念と概要* ・成年後見人の業務について（身上保護）*	三豊市介護保険課 職員 社会福祉士 社会福祉士
9月3日	・成年後見人の業務について（財産管理）* ・対象者と社会資源の理解（認知症高齢者）*	司法書士 社会福祉士
9月4日	・対象者と社会資源の理解（知的障害者）* ・対象者と社会資源の理解（精神障害者）* ・日常生活自立支援事業／これまでの振り返り	社会福祉士 精神保健福祉士 本会職員
9月8日	・法律基礎知識（財産法、家族法）*	弁護士
9月9日	・成年後見の実務① （申立て手続き書類の作成）	司法書士 原田祥一郎氏 （原田司法書士事務所）
9月10日	・成年後見の実務②～④ （財産目録・収支予定の作成） （年次報告書・報酬付与申立ての実務） （後見事務終了の手続き・死後事務）	司法書士 原田祥一郎氏 （原田司法書士事務所）
9月11日	・成年後見を取り巻く諸制度の基礎 （年金制度等）* ・家庭裁判所の役割 ・税申告の概要／これまでの振り返り	社会保険労務士 家裁観音寺支部 書記官 本会職員
9月30日	・介護保険・高齢者施策の取組状況 ・障害者施策の取組状況 ・虐待防止法について	三豊市介護保険課 職員 三豊市福祉課 職員 三豊市福祉課 職員
10月2日	・生活保護制度について ・消費者被害と消費者保護 ・質疑応答／事務連絡	三豊市福祉課 職員 県消費生活センター職員 本会職員
10～11月 随時	・体験実習（日常生活自立支援事業/法人成年後見業務 同行訪問）	本会職員
11月26日	・中核機関の取組状況 ・市民後見人活動報告 ・成年後見制度に関する寸劇等 ・交流座談会 ・修了証書授与・登録説明・閉講式	三豊市介護保険課 職員 坂出市市民後見人 なりきり寸劇団「ほのぼの座」、坂出市社協 職員 三豊市介護保険課 職員

*印はDVD視聴

＜市民後見人養成フォローアップ研修＞ 場所：高瀬町社会福祉センターほか

開催日	内 容	講 師	受講者数
令和7年 11月26日	・中核機関の取組状況 ・市民後見人活動報告 ・成年後見制度に関する寸劇等 ・交流会	三豊市介護保険課 職員 坂出市市民後見人 なりきり寸劇団「ほのぼの座」、坂出市社協 職員	13

	(上記、市民後見人養成講座 最終日と兼ねる)		
令和 8 年 2 月 19 日	・ 障害者の生活と相談支援専門 員の仕事	Hata くらす相談事業部 藤川 嘉宏氏 (相談支援専門員)	7

② 市民後見人候補者の活躍支援

市民後見人候補者が日常生活自立支援事業の生活支援員・法人後見支援員として活躍できるように、実践活動の場を提供し、地域の権利擁護活動の推進に取り組んだ。

<生活支援員活動実績>

延べ活動者	援助を受けた者	延べ支援回数
5 名	5 名	50 回

<法人後見支援員活動実績>

延べ活動者	援助を受けた者	延べ支援回数
4 名	4 名	24 回

7. 生計困難者に対する相談支援事業 事業費 158,155 円

香川おもいやりネットワーク事業は、社会福祉施設や民生委員・児童委員とも連携し、情報の共有を図った。

また、相談者 30 人に対し、継続的相談とフードバンクや寄付物品等の活用により支援を行い、状況により生活福祉資金貸付制度や生活困窮者自立支援相談など、必要な制度や支援に繋がった。

8. 生活困窮者自立支援事業（三豊市受託事業） 事業費 13,694,501 円

(1) 生活困窮者自立相談支援事業 事業費 6,617,240 円

生活困窮者自立支援法(平成 25 年法律第 105 号)に基づき生活保護受給者の前段階の生活困窮者及びひきこもりやニートの状態にあり、将来的に生活困窮に陥るリスクのある者に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行った。

<相談・援助件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受付件数	1	1	1	1	0	2	0	1	4	3	3	7	24
相談援助件数	80	92	57	56	38	30	75	25	33	31	15	33	565
合計	81	93	58	57	38	32	75	26	37	34	18	40	589

＜関係機関との会議・研修受講等＞

開催日	会議名	開催場所等
令和7年6月3日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	県社会福祉総合センター
令和7年9月8日 11月17日 令和8年1月26日	三豊市ひきこもり家族教室 マーガレットの会	豊中町農村環境改善センター
令和7年5月16日	困窮事業研修企画会議	県庁
令和7年6月27日	令和7年度生活困窮者自立支援統計システム研修会	本会（ライブ配信）
令和7年6月30日	生保受給者等就労自立促進事業協議会	観音寺公共職業安定所
令和7年7月23日	三豊市ひきこもり支援対策協議会	市危機管理センター
令和7年10月10日 令和8年2月18日	三豊市発達障害等支援連携会議（実務者会議）	市危機管理センター

（２）子どもの学習支援事業 事業費 3,892,261円

生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に対して基礎学力の向上や学習の場所・機会の提供などを通じて、高等学校への進学を支援することで、子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止することを目的に開催した。

○ 学習支援教室実施期間及び実施時間、場所

令和7年7月26日～令和8年2月28日 毎週土曜日 午前9時～12時
豊中町農村環境改善センター、市民交流センター、豊中庁舎

○ 参加者

生徒：23人（中学3年生11人・2年生7人・1年生5人）
学習支援員：11人
学生スタッフ：7人

＜生徒内訳＞

中学校	高瀬	三豊	三野津	豊中	詫間	仁尾	和光	市外	合計
3年生	4	0	2	1	2	1	0	1	11
2年生	3	0	0	1	2	1	0	0	7
1年生	1	0	0	1	3	0	0	0	5

＜開催数＞

月	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
開催数	1	5	4	4	5	3	4	4	30

＜参加者数＞

月	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
生徒	11	50	35	30	41	17	36	33	253
学習支援員	16	43	32	23	30	19	25	29	217
学生スタッフ	10	18	21	12	14	9	7	3	94
合 計	37	111	88	65	85	45	68	65	564

＜関係機関との会議・研修受講等＞

開催日	会議名	開催場所等
令和8年1月28日 29日	子どもの学習・生活支援事業支援員初任者研修	本会（ライブ配信）

（３）家計改善支援事業 事業費 1,186,000円

生活困窮者自立支援法に基づき生活保護受給者の前段階の生活困窮者及びひきこもりやニートの状態にある者に、家計表等のツールを活用し、生活困窮者の属する世帯全体の家計収支等を評価・分析(アセスメント)状況に応じた家計再生計画を作成するとともに、対象者の家計改善の意欲を高めることを目的に実施した。

＜相談・援助件数＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受付件数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3
相談援助件数	12	10	8	10	2	9	9	6	8	7	6	7	94
合 計	12	10	8	10	2	10	9	7	8	7	7	7	97

＜関係機関との会議・研修受講等＞

開催日	会議名	開催場所
令和7年6月3日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	県社会福祉総合センター
令和7年11月20日 21日	家計改善支援事業支援員初任者研修	本会（ライブ配信）

（４）就労準備支援事業 事業費 1,999,000円

就労に必要な実践的な知識や技能等が不足しているだけでなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している等の理由で、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対し、計画的かつ一貫して支援を実施した。

<申請・支援件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
申請件数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
支援件数	6	10	4	5	18	7	15	6	10	6	6	9	102

<関係機関との会議・研修受講等>

開催日	会議名	開催場所
令和7年9月8日 11月17日 令和8年1月26日	三豊市ひきこもり家族教室 マーガレットの会	豊中町農村環境改善センター
令和7年6月30日	生保受給者等就労自立促進事業協議会	観音寺公共職業安定所

9. ファミリー・サポート・センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 13,578,873円

(1) ファミリー・サポート・センター事業 事業費 10,801,864円

① 会員数及び活動件数

提供会員の高齢化による退会が増えている。令和6年度より、こどもの対象年齢を18歳の年度末までに延びたため依頼会員数は増加している。ファミサポのニーズが増え、活動件数が前年比で約154.5%増、約54.5%増加した。

<会員数>

(単位:人)

会員種別	本年度	前年度	増減
提供(まかせて)会員	275	274	1
依頼(おねがい)会員	739	708	31
両方会員	28	28	0
合計	1,042	1,010	32

<活動実績>

(単位:件)

相互援助活動の取組内容	本年度件数	前年度件数
① 保育施設までの送迎	379	263
② 放課後児童クラブまでの送迎、終了後の預かり	234	232
③ 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	22	69
④ 小学校までの送迎	60	22
⑤ 保護者等の外出の場合の援助	26	27
⑥ 習い事等の送迎	385	211
⑦ 自宅までの送迎	676	378
⑧ 一時預かり施設の送迎	25	3
⑨ その他	320	172

・中学校へ送迎(140)、その他の送迎(22)	(162)	(127)
・保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	(5)	(19)
・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	(84)	(22)
・保護者宅預かり (58)、その他の預かり (3)	(61)	(0)
・職場の送迎	(8)	(4)
合 計	2, 127	1, 377

② 会員に対して相互援助に必要な講習会の開催

(ア) まかせて会員養成講座を年1回開催し、新規まかせて会員7名の登録につながった。
 <まかせて会員養成講座>

開 催 日	内 容	開催場所	受講人数
令和7年10月14日	①小児看護の基礎知識・子どもの発育と病気	豊中町保健センター	9
令和7年10月17日	②子育てをめぐる状況とファミサポ事業の説明		9
令和7年10月20日	③子どもの栄養と食生活		11
令和7年10月22日	④ 保護者とのコミュニケーション		9
令和7年10月29日	⑤ 子どもの虐待と子育て支援者の役割 ⑥ 発達障がいへの理解と家族の支援		24
令和7年12月1日	⑦ 子どもとのかかわり・児童との遊び ⑧ 保育の心		11
令和7年12月5日	⑨ AEDと心肺蘇生法・子どものケガ～予防・応急処置～		18
令和7年12月9日	⑩ 子どもの世話・三豊市の母子保健事業 ⑪ 子どもとのかかわり・乳幼児との遊び		10
令和7年12月11日	⑫手引きの説明 ⑬子どもの発達とその課題		9

(延 110 人)

(イ) 会員のスキルアップのためフォローアップ講習会を開催した。

<フォローアップ講習会>

開 催 日	内 容	開催場所	受講人数
令和7年6月26日	離乳食について知ろう	仁尾庁舎	8
令和7年9月24日	おとなも子どもも幸せになるためのこころのケア	豊中町農村環境改善センター	31

(延 39 人)

③ 会員相互の連携と親睦を図る交流会の開催

会員相互の連携と親睦を図るため、毎年、交流会を行っている。感染症予防対策を行い工夫しながら交流会等を開催した。

<交流会>

開催日	内 容	開催場所	参加人数
令和7年6月19日	カラダと向き合うピラティス	みとよ未来創造館	19
令和8年2月2日	ファミサポカフェ	豊中町保健センター	14
令和8年2月11日	親子クッキング教室	豊中町保健センター	32

(延 65 人)

④ 関係機関との連携強化

(ア) 地域子育て支援センター、つどいの広場等との情報交換を行い、よりよい支援になるよう連携強化を図った。つどいの広場と連携し休日開催のイベントにも参加した。出張登録会を8回実施し啓発を行った。

(イ) 県内の関連機関(県・他センター)との連携を取り、会員への対応の仕方や養成講座開催の情報交換を行った。また、県内ファミサポ連絡会に参加しファミサポの援助活動や会員を増やすための方法など、今後の参考になった。

<県内ファミサポ連絡会>

開催日	内 容	開催場所
令和7年8月28日	グループ討議・情報交換	丸亀市保健福祉センター
令和8年3月3日	アドバイザー研修 (提供会員の確保の取り組みについて) グループ討議・情報交換	あみのうら交流センター

(ウ) 職員の日々の業務に係る研修として、一般財団法人女性労働協会開催の研修会に参加した。

<全国アドバイザー研修会>

開催日	内 容	開催場所
令和7年10月24日	なぜ今虐待防止が求められるのか～ファミサポにおける虐待防止の意義とは～	オンライン

⑤ 情報提供・広報活動

ファミサポ通信を年3回発行、各施設等に配布し活動状況や会員数・イベント情報・地域の子育て関連などの情報提供を行った。

広報「みとよ」・社協だより「しちふく」から定期的に情報を掲載することで、地域への情報発信と会員増強に努めた。

子育て世代に向け、LINE 公式アカウントを周知するとともに登録を促した。

発行物	ファミリー・サポート・センターチラシ ファミサポ通信(年3回発行) まかせて会員養成講座チラシ 子育てホームヘルプチラシ (広報「みとよ」・社協だより「しちふく」)
-----	--

（２）子育てホームヘルプ事業 事業費 2,487,669円

ホームページや社協広報紙への掲載以外にも離乳食講習会等でチラシを配布し、事業周知に努めた。また、出産直後で登録に来られない利用者の場合は、アドバイザーが直接出向き、相談に応じ出張登録を行った。

子どもが生後6か月からは、ファミリー・サポート・センター事業と並行して利用でき、ニーズによって選べるようになっている。子育てホームヘルプのニーズが増え、活動件数が前年比で約244%増、約2.4倍に増加している。

＜利用者・子育てホームヘルパー数＞

登録会員数	利用者	175	(依頼人数 40)	人数計 220
	子育てホームヘルパー	45	(派遣人数 20)	

＜活動件数＞

活動実績	相互援助活動の取組内容		活動件数
	① 食事関係（調理全般）		179
	② 子どもの世話 （子守り・沐浴・沐浴介助・オムツ交換・授乳・寝かしつけ）		352
	③ 受診・参観等付添い		7
	④ 掃除（洗濯・風呂掃除・トイレ掃除）		149
	合 計		687

＜子育てホームヘルパー・フォローアップ講習会＞

開催日	内 容	開催場所	受講人数
令和7年6月26日	離乳食について知ろう	仁尾庁舎	8

（３）子育て世帯訪問支援事業 事業費 289,340円

家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的として支援を行った。

また、必要に応じて市保健師や相談員と情報共有を行うとともに支援方針等の協議を行った。

＜派遣回数等＞

派遣回数	時 間 数	延利用者数
131	171.5 時間	16

10. 訪問介護事業 事業費 60,510,738円

(1) 訪問介護事業 事業費 35,785,179円

介護福祉士または訪問介護員研修の修了者である職員または登録ヘルパーが、要介護状態にある高齢者に対し、介護保険法により適正に訪問介護を実施した。

介護保険・障害福祉サービス事業所のサービス提供責任者6人が訪問計画・ヘルパー配置計画及びモニタリングを行い、利用者の生活機能の維持、向上を目指し支援を行った。

＜介護度別利用人数＞ (単位:人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
39	12	9	1	1	62

＜月別利用人数＞ 前年度末 753人 対前年比 100.3%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	68	65	63	61	65	64	64	63	60	59	62	62	756

＜月別利用延人数＞ 前年度末 8,812人 対前年比 99.3%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	767	803	782	766	704	729	805	680	719	572	686	745	8,758

(2) 生活支援訪問事業 事業費 24,086,003円

三豊市の介護予防・日常生活支援事業の実施に伴い、介護予防・日常生活支援を、その心身状況や環境状況に応じた適切な訪問サービスを実施した。

＜対象別人数＞ (単位:人)

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
4	25	48	77

※予防サービス利用者は、訪問サービス(I)～(III)を選択できる。

訪問型独自サービスⅠ…週1回程度の利用 1,176/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅡ…週2回程度の利用 2,349/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅢ…週2回以上の利用 3,727/単位(1単位:10円)

(実績に伴う1回単位での収入)

＜月別利用人数＞ 前年度末 837人 対前年比 107.4%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	69	71	74	76	76	78	76	78	74	75	74	78	899

＜月別利用延人数＞ 前年度末 5,764人 対前年比 107.8%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	497	524	522	564	531	532	563	502	507	482	478	513	6,215

(3) その他訪問事業 事業費 639,556円

① 生活管理指導員派遣事業 (三豊市受託事業)

ひとり暮らし高齢者への訪問事業(原則、週1回1時間程度)は、日常生活(家事・対人関係等)への支援・指導を関係機関と緊密に連絡調整を行い、要介護状態の進行予防を実施するもの。

<派遣回数等>

派遣回数	時間数(前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
—	—	—	—

※令和7年度利用なし。

② 子育て世帯訪問支援事業 (三豊市受託事業)

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した「子育て支援が必要である家庭」に対し、訪問サービスを実施し、子育てに関する相談や必要な支援を行った。

三豊市から、2世帯(6か月間)の依頼があった。

<派遣回数等>

派遣回数	時間数(前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
16	23時間(15時間)	6	153.3%

③ 支援サービス事業

介護保険事業外の訪問サービスを全額利用者負担で提供した。(対象者12人)

④ その他

訪問介護サービスの提供にあたり、担当のサービス提供責任者と訪問する登録ヘルパーとのカンファレンス(ケース検討)、また、サービス向上とヘルパーの資質向上を目指した定期的な会議の開催や、研修会に参加した。他の事業同様、対外的な研修は中止や回数を減らすなど参加人数を制限しての開催となった。

<訪問介護事業(障がい含む)における研修会及びカンファレンスの開催状況>

開催日	人数	研修内容
令和7年	4月25日	19 ヘルパーミーティング「災害時の対応について」
	5月14日	8 感染症予防及びまん延防止委員会
	6月11日	12 ヘルパーミーティング「食中毒予防について」「BCPについて」
	7月1日	8 身体拘束・虐待予防委員会
	5～10日	2 長寿社会開発センター研究セミナー(オンデマンド配信) 「統合失調症、発達障害、パーソナリティ障害という診断のある利用者の支援…診断名や見かけの症状に惑わされない対応」
	16日	4 令和7年度強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)1日目
	17日	1 中堅介護職員研修「リーダーシップ・コミュニケーション力」
	30日	2 令和7年度強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)2日目
	31日	2 令和7年度強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)2日目
	8月4～15日	全員 ヘルパーミーティング「虐待防止・身体拘束について」
	12日	1 新人介護職員研修「医療知識に関する研修」(オンライン)
	17日	3 人権研修「人権について語り合う三観地区中学生交流集会2025」

	28 日	1	人権研修「人権について語り合う三観地区大人の交流集会 2025」
	29 日	4	令和 7 年度強度行動障害支援者養成研修（実践研修）1 日目
	29 日	4	令和 7 年度強度行動障害支援者養成研修（実践研修）2 日目
	9 月 16 日	1	新人介護職員研修「メンタルヘルス研修」（オンライン）
	10 月 10 日	1	長寿社会開発センター研究セミナー（オンデマンド配信） 「メンタルヘルス対策～ストレスマネジメントの実践～」
	29 日	15	ヘルパーミーティング「インフルエンザ予防について」
	30 日	4	ICT 研修
	11 月 5 日	1	新人介護職員研修「介護技術Ⅰ」
		2	中堅介護職員研修「介護技術Ⅰ」
	17 日	2	中堅介護職員研修「介護技術Ⅱ」
	25 日	8	感染症予防及びまん延防止委員会
	28 日	1	新人介護職員研修「介護技術Ⅱ」
		2	中堅介護職員研修「介護技術Ⅲ」
	12 月 6 日	1	長寿社会開発センター研究セミナー（オンデマンド配信） 「地域共生社会と生活困窮者支援」
令和 8 年	9 日	1	新人職員研修「認知症に関する研修」
		1	中堅職員研修「ターミナルケアに関する研修」
	25 日	11	ヘルパーミーティング「BCP について」
	1 月 5 日	1	新人介護職員研修「介護技術のフォローアップ研修」
	27 日	1	三観地域自立支援協議会「障害者虐待防止研修」
	2 月 15 日	5	職員研修「災害ボランティアセンター運営者研修」
	19 日	1	施設長・管理者研修「リスクマネジメント」（オンライン）
	20 日	11	ヘルパーミーティング「研修：ハラスメント対策について」
	3 月 11 日	1	令和 7 年度集団指導（オンライン）

11. 障害福祉サービス事業 事業費 17,228,997 円

身体障がい・知的障がい・精神障がい等のある人の日常生活を支援し、自立した生活を営むことができるようヘルパー派遣を行った。

家事援助が大半を占めているが、通所利用者の移動時の見守り・支援、入浴介助・通院、外出時の援助・排泄行為の介助などのサービスも実施した。

（１）障害福祉サービス事業（居宅介護） 事業費 14,800,441 円

（２）障害福祉サービス事業（行動援護） 事業費 2,428,556 円

<区分別利用人数>

（単位：人）

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
5	21	7	3	2	2	40

延利用者数 472 人（前年度末 443 人） 前年度末対比 106.5%

内訳 居宅介護 426 人 給付費収入 13,320,119 円
 行動援護 46 人 給付費収入 2,156,558 円
 (合計 15,476,677 円)

<月別利用人数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	40	39	39	41	37	39	39	38	38	41	41	40	472

<月別利用回数>

前年度末 3,318 回 対前年比 114.9%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
居宅	308	294	289	307	301	299	309	271	291	290	276	310	3,545
行動	23	23	27	21	6	27	28	24	20	23	25	21	268 (3,813)

12. 移動支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 1,881,990 円

1 回あたりの費用	30 分まで	1,500 円
	1 時間まで	3,000 円
	以後 30 分につき	1,000 円

<月別利用人数>

前年度末 45 人 対前年比 108.8%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	49

<月別利用回数>

前年度末 416 回 対前年比 106.2%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	42	35	34	41	36	32	41	31	38	39	36	37	442

13. 高齢者デイサービスセンター事業 (三豊市受託事業)

事業費 43,051,617 円

三豊市からの受託事業。在宅生活を支える介護保険サービスとして財田町デイサービスセンターを運営。要介護者・要支援者・事業対象者に対し、在宅生活の維持・継続、社会的孤立の防止、心身機能の維持・向上、家族のレスパイト等を目的に実施した。

R7 年度から食事提供を外部委託とし、1 月からの加算取得、R8 年度からの提供時間延長等、経営改善に努めている。

<活動内容>

時間帯	活動内容
8 時 40 分～	職員が送迎車で自宅に迎え
9 時 30 分～	健康チェック・入浴・手作業・昼食・機能訓練・レクレーション・おやつ等
15 時 30 分～	職員が送迎車で自宅に送る

<月別実施状況>

前年度利用延人数 4,050 人 対前年比 86.9%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242
月別利用者数	33	30	30	31	31	19	30	29	30	33	33	34	
利用延人数	296	285	293	338	292	262	307	257	298	309	303	283	3,523

※ 1 日平均利用人数 15.0 人

14. 生活支援通所事業 (三豊市受託事業) 事業費 2,694,185 円

総合事業(通所型サービス A 事業)は、高齢者が要介護状態にならないように、レクリエーションや入浴など生活支援を行い、誰もが住みなれた地域での生活の継続するため「環の湯」にて週 1 回、水曜日に実施した。

※利用者負担額 1 回 一律 1,330 円(昼食、「環の湯」入浴料含む)

<月別実施状況>

前年度利用延人数 434 人 対前年比 110.1%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
月別利用者数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	
利用延人数	41	42	42	42	39	36	40	40	36	37	43	40	478

※ 1 日平均利用人数 9.96 人

15. その他事業

(1) 老人クラブ連合会

三豊市老人クラブ連合会では、高齢者福祉の理念に基づき「健康・友愛・奉仕」を基本に、健康で生きがいのある生活の実現と、高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的としている。

三豊市老人クラブ連合会から会計事務を委託され、各所への連絡調整、会議・委員会の開催、行事の開催等補助的運営支援を行った。また、行事等開催及び運営の補助的支援を行った。

<総会・理事会・女性委員会・部会>

実施期日	名 称	会 場	実施回数又は参加人数
5/24	総会	市民交流センター	152 人
令和 7 年 4 月～ 令和 8 年 3 月	理事会	豊中庁舎 4 階健診ホール	12 回

〃	女性委員会	豊中庁舎相談室	2 回
〃	健康長寿部会	豊中庁舎セミナールーム	4 回
〃	広報部会	豊中庁舎相談室	3 回
〃	生涯学習部会	マリンウェーブプレイルーム	5 回

<町老連・地区老連等事業>

スポーツ大会の開催 (市老連助成事業)	各町老連で運動会・ペタンク大会、グラウンド・ゴルフ大会、運動会等の各種スポーツ大会を開催
友愛チーム活動の推進	友愛チーム活動・たまり場活動の推進 (チーム数：46/訪問対象者：276 人/訪問延回数：1,474 回) (たまり場活動数:70 か所/開催数 463 回/参加延人数:6,945 人)
交通安全運動の推進	交通安全に関する各種活動の実施
地域の(子ども)見守り活動 と「あいさつ運動」の実施	登下校時における見守りとあいさつ運動実施 (6 クラブ、延べ 1,722 人)

<市老連主催事業>

名 称	開催 日	会 場	参 加 人 員	概 要
第 9 回ペタンク 大会	5/28	比地小第 2 運動場	157 名	健康づくりや体力の保持・増進、三 豊市管内でのスポーツ交流
女性委員会主催 研修会	7/14	三豊市市民 交流センタ ー	68 名	南海トラフ地震、豪雨災害によるた め池決壊、ハザードマップ活用等につ いて 講師：三豊市防災士会
第 11 回 G・G 大 会	11/27	緑ヶ丘総合 運動公園	169 名	健康づくりや体力の保持・増進、三 豊市管内でのスポーツ交流
単位クラブ活動 研修会	11/11	山本庁舎 2 階会議室	80 名程 度	単位クラブ活動実践発表 発表者 辻若松会
生涯学習部講演 会	1/30	財田町公民 館	80 名 程度	①三豊地域の歴史をかえりみて 講 師：北原敏雄氏 ②音楽鑑賞 講師：コスモスサイターズ
かがやきクラブ 三豊広報紙発行	3/15			各町老連、市老連の活動内容などを 掲載 新規会員募集も募る

<その他研修等参加>

名 称	開催 日	会 場	参 加 人 員	概 要
歯と口の健康フェスタ	6/8	市民交流センター	12 名	三豊歯科医師会主催（参加者 1,029 人：子ども 551 人、保護者 478 人）
中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会	7/10 ～11	島根県松江市	1 名	中国・四国ブロック老人クラブリーダーが集い日ごろの活動の成果等をもちより討議と交流を実施（市老連より黒田理事参加）
老人の日・老人週間 「社会奉仕の日」	9 月	それぞれの老人クラブで実施		
シニアスポーツ交流大会 （ペタンク）	11/26	丸亀市総合運動公園・多目的広場	39 名	健康づくりや体力の保持・増進、広域観でのスポーツ交流（13 チーム参加）
ぼちぼちクラブ 香川みんなの集い	11/18	レクザムホール 小ホール	41 名	第 41 回香川県老人クラブ大会 表彰式典・事例発表
地域支え合い・リーダー研修会	3/3	香川県社会福祉 総合センター	15 名	事例発表・グループ協議

（２）共同募金事業

地域の福祉活動を支援し、活動の財源とするため共同募金運動に協力し、市民の理解を深めた。また、三豊市共同募金委員会として、募金活動及び助成に関わる業務について運営委員・審査委員との協議を行いながら、地域活動への援助を行える体制に努めた。

<一般募金>

（単位：円）

募金方法	目標額(A)	実績額(B)	比較増減(B)－(A)
戸別募金	15,442,000	14,529,400	△912,600
街頭募金	163,000	167,888	4,888
法人募金	3,200,000	3,044,228	△155,772
学校募金	450,000	368,807	△81,193
職域募金	1,051,000	1,035,500	△15,500
イベント募金	17,000	10,196	△6,804
個人募金	12,000	10,100	△1,900
その他の募金	35,000	219,313	184,313
総合計	20,370,000	19,385,432	△984,568

<街頭募金>

地 区	実 施 日	実施場所	参加人数
高 瀬	令和7年 10 月 7 日	マルヨシセンター高瀬店	10
	10 月 7 日	マルナカ高瀬店	8
山 本	10 月 28 日	マルナカ山本店	9
三 野	10 月 1 日	ピカソ三野店	16
豊 中	10 月 1 日	ゆめタウン三豊 オープニングセレモニー	37
	10 月 7 日	マルナカ豊中店	7
詫 間	10 月 28 日	ピカソ浜田店	8
仁 尾	10 月 8 日	ショッピングストア今川	10
財 田	10 月 11 日	道の駅たからだの里物産館	12

(延 117)

<審査委員会>

開 催 日	内 容	結 果
令和7年 5月29日	令和8年度事業共同募金地域助成申請に係る審査について 令和8年度共同募金推進計画について	承認 承認
令和8年 2月12日	令和7年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について 令和7年度募金結果について 令和8年度事業共同募金地域助成計画(最終)について	報告 報告 承認

<運営委員会>

開 催 日	内 容	結 果
令和7年 6月12日	審査委員の選任について 運営委員の選任について 令和6年度共同募金収支決算について 令和8年度事業共同募金地域助成計画統括表について 令和8年度共同募金推進計画について 監事の選任について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和8年 3月25日	令和7年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について 令和7年度募金結果について 令和8年度事業共同募金地域助成計画(最終)について 令和8年度三豊市共同募金委員会収支予算について 審査委員の選任について 運営委員の選任について 会長及び副会長の互選について	報告 報告 報告 承認 承認 承認 承認

<会計監査>

開 催 日	主要付議事項	結 果
令和7年5月26日	令和6年度決算監査	認定

<令和6年度共同募金(令和7年度事業)地域助成事業>

(単位:件/円)

助成先(事業執行者)	事業件数	事業名	助成金額
本会	8	居場所づくり推進事業、広報発行事業、ボランティア活動推進事業、三豊市社会福祉大会開催事業、福祉普及事業、災害対策推進事業、まるみプラン推進事業、地域活動応援事業	12,738,434
地区社協 自治会等	30	地域安心福祉事業、地域安全安心事業、高齢者交流推進事業、防災減災活動支援事業、高齢者ふれあい会食事業等	3,024,000
福祉団体 ボランティア団体	66	地域の子育て支援応援事業、ろう者困難問題支援事業、異年齢交流、視覚障がい者・児向け点訳支援事業、更生保護推進事業、高齢者健康推進事業、子どもふれあい事業、父母ヶ浜の清掃活動と地域住民の交流事業等	4,185,000
合計	104		19,947,434

※助成申請 107 事業中、3 事業が中止となった。

(3) 子育てボランティアみみちゃん

子育てボランティアみみちゃんは、自分たちにできる育児の手伝いと、本会が取り組む子育て支援事業への協力を目的に設立し活動している。本会が事務局を務め、三豊市内での行政や各種団体からの託児ボランティア派遣要請に対し、連絡調整を行った。

また、年間を通じて知識の習得や会員同士の親睦の機会を持つため研修会等を企画、実施した。託児依頼については、子育て世代のイベントの再開等により託児依頼が増加傾向にある。

<託児活動>

行事名	回数	託児ボランティア数	依頼団体
離乳食講習会	6	31	三豊市子育て支援課
ファミサポ行事	1	4	みとよファミリー・サポート・センター
愛育会行事	2	7	三豊市愛育会
計	9	42	

＜自主行事＞

開催日	活動内容	開催場所	参加人数
令和7年7月7日	研修会(断捨離) どい かおり氏	豊中町保健センター	19
令和7年11月12日	研修会(健康体操) 高木 駿氏	豊中町農村環境改善センター	8
令和8年2月6日	研修会(料理教室) 則久 郁代氏	豊中町保健センター	10

(延 37 人)

(4) フードバンク(ものバンク)事業

フードバンク事業は、年間を通して寄付いただいた玄米や食材等を業務用冷蔵冷凍庫、保冷庫及び精米機等を活用しながら、支援を必要とする方に「おもいやりネットワーク事業」や「生活困窮者自立支援事業」、「生活福祉資金貸付事業」と調整を図りながら地域で自立した生活を送ることができるよう、179 件の支援を行った。

また、引越し等で生じた家電製品等の寄付により、食材以外の物品支援を必要世帯へ行った。

(5) NPO法人後見ネットかがわへの協力

平成 30 年度より、活動目的に賛同し、地域の高齢者や障がいのある等の権利擁護推進のため、同法人の受任する後見人等(監督人を含む)の支援を行った。